

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	
園名	こどもヶ丘保育園野方園

1. 活動テーマ

【テーマ】

運動遊び

【テーマの設定理由】

運動会に向けて様々な運動遊びをする中で体の使い方に興味を持ち始めていた。

2. 活動スケジュール

- 1、戸外での運動遊び(かけっこ、鬼ごっこなど)や室内での運動遊び(トランポリン、平均台など)で運動をする機会を増やし興味関心を広げる。
- 2、子どもたちに何が楽しかったか、どんなことをしてみたいかなどを問いかけイメージを広げる。
- 3、子どもたちと話をしながら必要な物を用意し、環境のイメージがつくよう保育者が環境を設定しサーキット遊びを行う。
- 4、次はどんなことをしたいか、どんなコースにするかなど子ども同士で意見を出し合い話し合う。
- 5、子どもが決めたコースを一緒に設定し、展開やり取りを見守る。

3, 探究活動の実践

【活動の内容】 10月 14日（火）～ 2月 20日（金）

・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

〈環境設定〉

戸外遊び、室内遊びの中で様々な運動を取り入れ子どもたちの興味が広がるようにした室内での運動遊びに興味を持ったため保育室を広げ空間のイメージを広げた。話し合いの時間をいくつか設け子ども同士でイメージが広がるようにした。

〈素材、道具〉

トランポリン、平均台、跳び箱、滑り台、バランスストーン

・活動の内容

- 1、戸外や室内で様々な運動遊びを楽しむ
- 2、1の中でどんな遊びが楽しかったか、どの遊びをもっとしてみたいかを話し合う
→「トランポリンが楽しかった」→一人ずつ踏んで飛んでみようということに。
- 3、保育室を広げトランポリン以外にも平均台やバランスストーンなどを使いサーキットを作る。
- 4、異年齢児も活動に誘い、一緒に楽しむ。
- 5、子どもたちだけでサーキットの設定を話し合い考える。
- 6、自分たちで考えたコースを保育者と一緒に準備をし楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- 2、話し合いでは室内での運動遊びが印象に残っていることが多く「トランポリンを高く跳びたい」「もっと部屋を広くしたい」「どうとんだら高く飛べるか」など意見を述べていた。
- 3、保育者と一緒に環境を設定すると、サーキットをただ楽しむだけでなく、平均台でドンジャンけんが始まったり、バランスストーンを使ってワニワニパニック（ストーンから落ちるとワニに食べられる）というゲームを考えたりする姿があった。
- 4、3歳児と一緒に遊んだり、トランポリンを使用する際の注意点を事前に教えてあげる姿が見られた。
- 5、子どもたちでの話し合いで、意見が通らず泣く子、それを見てその子の意見を取り入れようとする子、励ます子、その場を仕切り話し合いを進める子などさまざまな子どもの姿が見られた。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

最初はざっくりと運動遊びから始まった活動であったが、子どもたちの興味を広げていくにつれ遊びの広がりや成長が見られた。保育者が想像していない場面で子どもたちだけで遊びが展開されていくこともあり、保育者があまり口出しせず見守る姿勢の大事さも改めて実感した。また普段から話し合いの時間を設けた活動があったこともあり、子どもたち同士の話し合いでもお互いの意見を聞きながらそれぞれの役割で話を進めていたのがとても印象的だった。

【活動の様子】



【保護者への共有内容】

